学年通信
第５号

進取のこころ

令和５年１０月　２日発行
県立多可高校　第５０回生

ビブリオバトル －知的書評合戦－

金曜日５限の「福祉のこころ」という多可高の特色ある授業において、ビブリオバトル（知的書評合戦）を行いました。ビブリオバトルとは、発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まり、順番に本を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか？」を競うゲームです。今回、初めて多可高で実施しました。

９月１５日にクラスを４グループに分け、各クラス４名を選抜しました。２２日には多目的ホールにて、代表生徒８名の決勝（３分間発表、２分間質疑応答）があり、終了後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票（Google Forms による二次元コードからのアンケート）を参加者全員で行い、最多票を集めた１組のＹさんが紹介した『５４字の物語』（氏田雄介著）を『チャンプ本（優勝）』と決定しました。

投票の自由記述欄には、「本の紹介がとても印象に残ったので読んでみたくなった。」や「周りを見渡しながら話しているのが凄く、詰まることがなかった。」、「時間が余っていても即興でスラスラと話せていて本当に凄かった。」等のコメントがありました。

●代表生徒８名の本（クジ順）

『日常の夏休み』（あらゐけいいち著）
『使ってはいけない日本語』（宇野義方著）
『ネバーランド』（恩田陸著）
『５４字の物語』（氏田雄介著）【チャンプ本（優勝）】
『アヒルと鴨のコインロッカー』（伊坂幸太郎著）
『Bling Bling　ダンス部女子の１００日革命！』（相羽鈴著）
『アリス殺し』（小林泰三著）【第３位】
『スイッチ悪意の実験』（潮谷験著）【準優勝】

＜参考＞

・ビブリオバトルは、「知的書評合戦」と紹介されている。
・「ビブリオ」は、ラテン語の「本」を語源とする言葉である。
・**「人を通して本を知る。本を通して人を知る」**というキャッチコピーで日本全国に広がっており、県内でも多くの図書館や学校で実施されている。
・ルールは柔軟に変更でき、それぞれの状況に応じ、５分間の本の紹介を３分間にすることも可能である。

学年団の先生方からのオススメ本

『ミノタウロスの皿』（藤子・Ｆ・不二雄著）　【紹介：赤穂】
『１３７億年の物語』（クリストファーロイド著）　【紹介：鍛治】
『一流の人間力』（井上裕之著）　【紹介：左納】
『卵の緒』（瀬尾まいこ著）　【紹介：藤永】

皆さんも是非、先生方からのオススメ本を読んでみてください。

※学年通信のタイトル「進取の精神（こころ）」の由来は、校歌の第１番からです。
進取（しんしゅ）とは、慣習などにとらわれず、進んで新しいことに取り組もうとすることという意味があります。
ビブリオバトルをキッカケに出合った本を読んでみてください。

今後の予定

１０月　３日（火）ＰＴＡ合同交通立番
　　８日（日）寒露（かんろ）
　　１３日（金）中間考査【～１８日（水）】
　　１９日（木）芸術鑑賞会
　　２４日（火）霜降（そうこう）
　　３０日（月）個人成績票配布
１１月　１日（水）４５分×６限・身だしなみ確認（７限）
　　７日（火）４５分×４限・掃除ＳＨＲ、午後：第３学区オープンハイスクール
　　８日（水）４５分×４限・掃除ＳＨＲ、午後：第３学区オープンハイスクール
　　立冬（りっとう）
　　１０日（金）漢検
　　１３日（月）教育相談
　　１８日（土）数検
　　２２日（水）教育相談
　　小雪（しょうせつ）
１２月　７日（木）期末考査【～１３日（水）】